



■6年理科「人と環境」

理科で6年生が「人と環境」の調べ学習を行いました。「海洋酸性化」などの7つのテーマから1つを決め、ウェブページや本の情報を集めてレポートにまとめました。

「地球沸騰化」という衝撃的な言葉が昨年話題になりました。広島でも瀬戸内海の海水温が高くなったことが原因でカキの水揚げが遅れたそうです。10年後、20年後の生活を考えると足がすくむような気がします。今回の調べ学習で得た知識を深め、自分の言葉で環境問題について話せる人になってほしいと思います。



【1・2年生】本のかえしかたO×クイズ

1

このラベルは「えほん」にはられている



○…せ ×…か

2

9るいの本は「あいうえお」でもわかれている

○…る ×…し

3

0から8るいの本は「あいうえお」でもわかれている

○…し ×…ら

4

本をのせてはこぶ台は「ブックエンド」というなまえだ

○…だ ×…べ

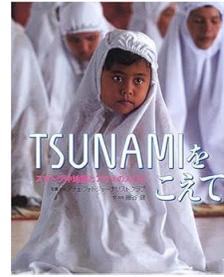
あつめた文字でことばをつくって、カウンターにつたえてください。せいかいした人にはぶんるいマスターシールをプレゼントします。



『TSUNAMIをこえて』

スマトラ沖地震とアチェの人びと

アチェ・フォトジャーナリストクラブ/写真 藤谷健/文 ポブラ社



2004年12月26日インドネシアをマグニチュード9.0の地震がおそった。地震後に津波が来ることを知らなかったたくさんの人が水に飲み込まれ、死者・行方不明者17万人という大惨事になったアチェ州で撮られた写真をまとめた本。

『竜之介先生、走る!』

熊本地震で人とペットを救った動物病院

片野ゆか/作 高倉陽樹/絵 ポブラ社



2016年4月14日の熊本地震では多くの動物たちもケガをしました。人の生活だけが最優先される災害時に、飼い主とペットの命と心を守るために「ペット同伴避難所」を運営した動物病院のノンフィクション。

『孫たちは帰らないけれど』

失われた「ふるさと」を求めて

豊田直巳/写真・文 農山漁村文化協会



2011年3月11日の東日本大震災をきっかけとして起きた原子力発電所の事故。漏れ出した放射線は土を汚染した。おばあちゃんたちが大切にしていた畑や、山菜やキノコをとる山、先祖代々続いた豊かな暮らしは永遠にうばわれてしまった。

『あきらめないことにしたの』

堀米薫/作 新日本出版



大地と人のつながりを大切に、ゆっくりとこの村で暮らそう。そんな思いを込めたじゃがいも「イータテベイク」のデビューを目前の2011年、福島県飯館村を地震がおそった。放射性物質に汚染され、立ち入ることすらできなくなったふるさとの作物をつなごうとする女性の物語。



■つぎの人のために正しくかえす

1・2年生が背ラベルを利用した本の返し方について学びました。同じ番号の本をならべることで、同じ分類の本がそろうことを学んだ子どもたちは、休みに時間も間違った場所に返却されている本を直してくれていました。

次の人のことを考えて本を正しい場所に返すという小さな積み重ねは、社会に出た時に誰かのことを考える大きな公共性につながっていきます。みんなのひと手間で本がきれいにならんでいることが嬉しいと思える子どもになってほしいです。

